

「 腫瘍栓を伴うウィルムス腫瘍に関する研究 」 へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター外科では 「 腫瘍栓を伴うウィルムス腫瘍の患者様 」 の患者さんを対象に 「 検査、治療と、その後の経過 」 に関する研究を実施しています。この研究は 同疾患に対する治療法の確立 に役に立つと考えております。

研究課題名	腫瘍栓を伴うウィルムス腫瘍に関する研究
研究の対象	1970年1月から2022年10月までに当院で腫瘍栓を伴うウィルムス腫瘍と診断され腫瘍切除術を受けられた患者様。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 腫瘍栓を伴うウィルムス腫瘍の切除では、血管内の腫瘍栓を摘出するために術式の検討が必要になります。血管処理が腹部のみで容易に行える事もありますが、心臓血管外科と合同で人工心肺を必要とする事もあります。どのような術式が最適であり、術式による注意点はどこなのか、当院での経験を検討し提示する事を目的としています。</li> <li>・方法 診療記録や画像所見を振り返り検討します。</li> </ul>
研究期間	2022年12月 ～ 2027年11月
研究に使用する試料・情報の項目	診療録、手術記録から診断、病変局在、手術術式、出血量、手術時間、病理結果、経過、合併症、転帰などの情報を収集します。
試料・情報の取得方法	診療録、手術記録から取得します。
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 (名称と機関の長の名称)	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	臼井 秀仁・外科

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年6月30日施行2022年3月10日一部改正）、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報が外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。本研究は研究資金を受けていません。

研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。又は、開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 外科  
臼井 秀仁

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
総務課 倫理委員会事務局

Tel : 045-711-2351 内線 2212